

令和5年度 第4回三木市学校給食審議会 議事録

- 1 開催日時 令和5年9月5日(火) 19時～20時55分
- 2 開催場所 三木市役所 5階大会議室
- 3 出席者

会長	水野	千恵
副会長	河原	正則
委員	松谷	真利
委員	中西	千津江
委員	前田	義典
委員	高橋	美野
委員	西未路	雅恵

(事務局)

教育総務部	部長	本岡	忠明
教育施設課	課長	荒田	知宏
教育施設課	給食係長	谷田	麗奈
教育施設課	給食係主査	埜田	邦美

- 4 傍聴者人の数 1人

- 5 議事

- (1) 三木市学校給食に関する課題について
学校給食に関するアンケートについて

- 6 主な発言の要旨

三木市学校給食に関する課題について
〔給食アンケートについて事務局説明〕

(会長)

今年度は保護者の方へもアンケートを実施するという初めての試みです。保護者用アンケートの内容は、献立の満足度、希望、食材の産地、認知度、給食費について、給食への関心・期待という内容です。児童生徒には毎年アンケートを実施し、おいしいかどうか等を中心に、

子どもたちがどのように感じているのか調査しています。

順番に保護者用のアンケート項目を見ていきたいと思えます。

【質問1】お子さんの在籍している学年、「小学校の低中高・中学校・幼稚園」ということで聞いています。

(委員)

子供が複数いたら、すべてにチェックをしてしまうと思えます。

(会長)

保護者への「学校給食に関するアンケートへのご回答のお願い」の用紙に、複数のお子様がおられる場合は、申しわけございませんが一番上のお子様のことについてご回答お願いしますということを書いています。この質問のところでもわかるように、記入するということによろしいですか。何人もいらっしゃる場合は、一番上のお子さんの気持ちになって書いてください。

(委員)

基本のところ、小学校(部)、中学校(部)となっていますが、部を入れますか。

(会長)

特別支援学校は小学部、中学部になります。または、特別支援学校で項目を分けるのか、どうしましょう。学年を答えるのは、小・中・幼稚園に分けて低・中・高学年で分けるのは、主食の量も違うからです。部という言葉を入れるか入れないかについては、特別支援学校の方のために、書かなくてもいいでしょうか。小学校低学年と考えていただくということによろしいですか。

(委員)

私は(部)を入れておいていいと思えます。

(会長)

このアンケートは発信してもらえるのか、保護者が読みにいくのか、どちらですか。

(事務局)

アンケートへのご回答のお願いという文書をお渡ししていますが、これを「すぐーる」で送付し、クリックしたらアンケートに飛ぶ形です。給食だよりと同じように、こちらから一斉に配信するという形で考えております。

(委員)

このQRコードを学校毎に分ければ、別に特別支援学校と書かずにそれぞれ送信すればどこの学校のどの学年の人と分かると思いますが、どうでしょうか。

(事務局)

それは難しいです。分けずに同じアンケートを小学校、中学校、幼稚園の保護者へ一斉送信になります。

(会長)

アンケートの回答は一人1回だけです。これは無記名ですね。

(事務局)

はい。

(会長)

同じ質問ですしアンケートに答えている人が分からないことは、心配ないのでしょうか。

(委員)

中学校というところで、丸を入れて回答しても、別所中学校なのか特別支援学校の中学部なのか分からないということですか。

(事務局)

特に学校ごとに集計する予定はないです。

(委員)

中学校と特別支援学校で、特段それを分析する必要もないのであればよいのですが、何か集計のために入れておいた方がよいなら学校別が分かるようにしてはどうでしょうか。

(委員)

小規模の学校は小さな結果の違いであっても大きく左右するので、それを母数に対する回答のデータがどこまで有効なのか、大きな数ならデータとして有効になる、そういう意味で学校の分類分けは必要ないと思います。

(副会長)

分類するとすれば、小学校、中学校ぐらいですか。

(会長)

小・中学校の5種類で分けているので、小学校の低学年の回答、中学年の保護者の回答として、データで見られます。あとは男女を入れるかだと思います。男女で食べている量に違いはあります。最近では男女の区別をしませんが、児童生徒のアンケートの結果は男女別に出て

いるので、そういう意味では男女も分けた方が何らかの違いが出てくるかもしれないです。

1回の回答で1番上のお子さんのことで、5分類に分ける形でよろしいですか。男女の問いは、ないままで大丈夫ですか。

(委員)

はい。

(会長)

では、基本はこのままでいきます。

【質問2】満足度について、「学校給食の献立について、満足していますか。」回答として、「満足・やや満足・普通・やや不満・不満・わからない」

質問では敬語を使うかどうかです。学校給食の献立について、満足していますか、満足されていますか。

(委員)

他の質問が丁寧にきかれていますので、されていますかと聞くのがいいのかと思います。

(副会長)

保護者が答えるのですよね。おいしいから満足しているということは、多分、保護者が子どもに聞かないと分からないと思います。

これは「学校給食の献立を見ているですか、見てないですか。」のあとで聞かないとわかりません。見ている人だけについて聞く。関心がないなら、質問から外すのはどうでしょう。

(委員)

保護者の方で献立を見ておられる方は、最近の給食はすごく充実しているという意見は聞きます。

(会長)

おっしゃるように、献立を見ておられる方は充実していますとか、満足しますという回答はあります。見てない方が、見ているか見てないかを先に聞いていた方がいいかどうかですね。

(委員)

「分からない」という回答もあります。

(会長)

保護者は関心がなかったら「分からない」という回答でよろしいですか。

(会長)

【質問3・4】「給食に満足していることはどのようなことですか。3つまで。」回答として、「バランスがよい、献立内容がバラエティに富んでいる、安全・衛生面に配慮している、量がちょうどよい、食物アレルギー対応が適切である、食育の指導が適切である、その他」

「不満があることはどのようなことですか。」同じ質問で反対の回答になります。「栄養バランスが悪い、献立内容がバラエティに富んでいない、安全・衛生面に配慮していない、量が多い、量が少ない、食物アレルギー対応が適切ではない、食育の指導が適切ではない」という項目です。

(委員)

満足している項目で、味については全く触れていないのは不自然かと思いました。子どもの嗜好に合わせているかどうか入れてほしいです。

それと食育の指導が適切かどうかというのは、また違う項目で聞くのがふさわしいと全体を通して思いました。ここでは聞くことはないと思います。

(会長)

まず、子どもの嗜好に合っている、もしくはおいしいということですか。

(委員)

平たく言うとおいしいということです。

(会長)

「量がちょうどよい」よりも前に「おいしい」を入れます。【質問4】は「量が多い、少ない」の前に「おいしくない」を入れます。

そして、「食育の指導が適切である」というのは、また別ものなので、ここからは除き、どこか別で入れるところを考えましょう。

(委員)

【質問3】【質問4】の回答事項で安全・衛生面に配慮しているということについて、保護者に通知はありますか。学校給食についての安全・衛生面をどうやっているのか、判断できる何か情報がありますか。

(事務局)

ホームページには食材の産地や放射能検査結果について書いています。

(会長)

【質問5】「学校給食の献立について希望がありますか。」回答として「栄養バランスを考えた献立にして欲しい、季節の行事ごとの献立を増やしてほしい、デザートや果実の回数を増やしてほしい、人気のあるメニューを増やしてほしい、和食を増やしてほしい、世界の料理を増やしてほしい、今のままでよい、その他」

「増やしてほしい」という回答が多いので、一番上は、「栄養バランスを考えた献立を増やしてほしい」はどうでしょうか。

また、備蓄食材を使った献立は三木市にありますか。例えば1月17日ぐらいにα化米や長期間保存できる野菜ジュース、缶詰、ドライパック、乾物備蓄の食材を使った献立を年に1回程度献立に出すという取り組みはどうですか。希望なので、増やしたいということを入れるのもよいのかなと思いますけどどうでしょうか。

また、献立でよく噛むことの大切さについて書かれていたので、例えば「よく噛む献立を増やしてほしい」等を入れるのもどうでしょうか。

(委員)

虫歯予防デーや11月8日のいい歯の日に取り入れていますけど、よく噛む献立を増やして欲しいと入れていると、保護者の方に伝わるかなと思います。

(委員)

備蓄食材を使った献立を入れて欲しいは、具体的すぎると思います。

(会長)

追加として、「よく噛む献立を増やして欲しい」という言葉でいいですか。「世界の料理を増やして欲しい」の次ぐらいでいいですか。

(委員)

「噛む献立を増やしほしい」と「世界の献立を増やしてほしい」は、意味合いが違うのかなと思います。「和食を増やして欲しい」はよいと思いますが、「世界の料理を増やして欲しい」というよりは、例えばメニューのレパートリーを増やして欲しいとか、多様性が欲しいという言い方がいいと思います。

(委員)

韓国料理やベトナム料理等、食べたことがない料理を出して欲しい意味だと思うのですが、今、学校は各国から来られる方がいるので、そ

のクラスメートの国の料理を知って欲しいということですか。

(事務局)

そのような意図で献立作成している担当栄養士もいますし、給食で世界一周等、珍しい料理を取り入れた時は好評でした。分かりにくければ、多様性等の言葉を追加しても良いと思います。

(委員)

もし「世界の料理」として使うのでしたら、「世界各地の料理を増やしてほしい」が分かりやすいと思います。

(委員)

行事食をいろいろと提供しているので、これ以上増やしてほしいと言われても難しいと思います。例えば、「旬の食べ物を増やしてほしい」の方が良いと思いました。

(会長)

「行事食や旬の食材を使った献立」でよいですか。

(会長)

「その他」で出てきそうな意見としては、牛乳を減らして欲しいとかですか。

(委員)

牛乳を選択制にして欲しいという声が上がっています。

(会長)

すでに選択制になっているのではないですか。希望しない人が、牛乳を止めることはできますか。

(事務局)

アレルギー以外の申請は、牛乳除去申請書を書いていただき、保護者の要望により、牛乳を止めている児童生徒はいます。

(会長)

牛乳の選択性は、「その他」で出てくるかもしれないと考えたらよいですか。「牛乳は選択制」と書いてはいけませんね。牛乳というのは、学校給食でのカルシウム源であり大事なものなので、その子どもの保護者が選択制で牛乳を飲まないという選択をすれば、その分のエネルギーとカルシウム等が減るといった状態の献立になります。選択制で、牛乳以外のものを選ぶわけではなくて牛乳を飲まないという選択しかできないということです。

牛乳の回数を減らして欲しいという意見が出てくるかもしれません。

(委員)

それを希望されている方もいたので。質問5の「牛乳は合わない、お茶がよい」という保護者の方の意見もあると思います。

(会長)

別の調査では、学校給食がない夏休み等の時期は牛乳を飲まないの
で、カルシウム不足の状態にあるというデータが出ています。また、乳
和食と言って、お味噌汁とか和風の料理にも牛乳を使って料理した献
立を学校給食の献立に取り入れている自治体もあります。牛乳はカル
シウムを摂りやすく、摂ってもらう習慣をつけるためにも、学校給食
の中に入れるという意味もあります。

例えば牛乳ではなくてジョアを提供したりされていますか。

(事務局)

今年から、この審議会でご提案をいただいて、栄養教諭に相談した
ところ、月1回だとカルシウムの平均を充足できるので、10月から
月1回程度はジョア等を出すようにしています。

(会長)

【質問6】「主食の回数についてどう思いますか。」現在は週に米飯
給食が3.5回、パン給食が1.5回です。回答として「今のままでよ
い、米飯を週4回に増やす、パンの回数を増やす」でよいですか。

(委員)

「どう思いますか」は「どう思われますか」という文言にそろえるのはど
うですか。

また、【質問5】の次に、【質問11】のように「献立について重要と
考えるものはどのようなことですか」という質問が入ってもいいと思
います。

(委員)

栄養教諭が献立を考える時は栄養バランスや旬等いろいろなことを
考慮して献立をたてていますが、保護者目線で見ると時にはどう考えて
いるかを聞いてみたいのです。同じようなことを重要だと思っているの
か、もしかしたら違うことを重要と考えられているのか、知りたいで
す。

(会長)

献立が教材としての意味を持っていますし、その中で栄養バランス、
栄養価、見た目のバランスとか、食文化の継承とか、そういうものです

か。

(委員)

栄養バランス、値段のこと、季節感、献立が食育に果たす役割についても関心がある等というあたりを聞いてもよいと思います。

(委員)

選ぶのは、他の項目が3つまでになっているので、3つまでがよいと思います。

(会長)

「栄養バランス、価格、季節感、彩り、味付け、食育との関連、食文化の継承」でよいでしょうか。

(委員)

食文化の継承は食育の視点に入るのですか。

(会長)

行事食等が入ります。いろいろな文化の継承という言葉を入れてもよいかもしれないですね。

【質問7】食材の産地の認知度についてですが、「米は全量、市内産を使用していることを知っていますか。」回答は、「知っている、知らない」でどうでしょうか。「ご存知ですか」と聞かなくても「知っていますか」でよいと思います。

【質問8】説明文が長いので、「学校給食では、地産地消を推奨していることから、できるだけ市内産の野菜を使用していることを知っていますか。」回答は、「知っている、知らない」だけにして、そのあとの説明文の「市内産の野菜は重量ベース割合の約28%使用している」は省いて、質問を短くしたらどうですか。

【質問9】「市内産の食材が調達できない場合は、兵庫県産、次に、国産の食材を使用していることを知っていますか。」回答は、「知っている、知らない」それ以外のところの説明は、今回はアンケートの中から省いてよろしいですか。

【質問10】「学校給食の食材について希望はありますか。3つまで。」回答として「市内産のものをもっと使って欲しい、兵庫県産のものをもっと使って欲しい、国産のものをもっと使って欲しい、有機農産物を使って欲しい、子どもの苦手な食材を使って欲しい、今のままでよい、その他」

【質問11】「使用する食材について重要と考えるものは何ですか。」

3つまで。」回答として、「安全性、栄養価、鮮度、おいしさ、価格、産地・製造地、添加物、アレルギー、その他」

産地・製造地の回答があるので、その次に「製造方法」を入れて、添加物等どんなふうになられているか等に関心がある人を聞くのはどうでしょう。

また、「その他」の項目も入れて、聞いてみるのはどうでしょうか。

【質問12】「有機農産物を給食に取り入れた方がよいと思いますか」は、設問を短く端的に聞いたほうがよいと思います。しかし、有機農産物の言葉はわからないといけないので、この説明だけは（）カッコして加え、有機農産物のところに「＊」を入れ、その説明として、「有機農産物等は禁止された農薬を使用せず栽培する等、有機JAS認証された農産物」として書きます。回答が、「給食費が上がっても、取り入れて欲しい、給食費が上がらなければ取り入れて欲しい、どちらとも言えない、給食費が上がったら取り入れなくて良い、こだわる必要がない」でよろしいですか。

【質問13】「上記で回答した理由ご意見がありましたら、ご記入ください。」自由記載項目です。こだわる理由等がわかっただけでいいと思います。

（副会長）

事務局から説明していただいたのですが、市内の農業の状況が私たち委員では分からないので、アンケートの結果が出て、次回は、今年度で最後の会になるので、詳しく説明していただけたらどうかと思います。いかがですか。

（会長）

三木市の農業が、今現在どうで、今後の方向性がよく分からないので、市の農業をよく把握しているところに、市の農業の現状を教えてくださいたいと思います。例えば、次の審議会でも農業政策、有機農業について、農業振興課にお話をさせていただくことをお願いすることは可能でしょうか。

（事務局）

はい。調整させていただきます。

（会長）

ご提案ありがとうございます。お願いします。

（委員）

【質問10】食材についての希望という部分で、保護者の方から給食で食べる米や野菜を一部でも自分たちで作りたいという意見もあります。食育にも繋がっていきますし、どう思われているか聞いてみたいです。

(会長)

自分たちで作ったものを一部でも食べるというのは、理科や総合学習の時間で育てているお米や野菜ですか。学校によっては給食に使っていますか。

(委員)

学校規模にもよりますし、できない学校もあります。収穫が少ない場合は、クラスで食べたりすることもあります。たくさん取れば給食で使ってほしいということでスープに入れて使うこともあります。

(会長)

こういうことを何か給食だよりとかで、紹介していくということもがあってもよいかもしれません。

(委員)

ただ、この日に必ず使えるとは言い難く、予定としか言えません。市が一斉にこの日に、各学校で作ったものを使うというのは、給食の献立を考えるのは2ヶ月前になり、実際に採れるのかわからないので厳しいと思います。各学校の判断で使用しています。

(会長)

それを質問項目に入れるのは難しいので「その他」で拾い出すということで大丈夫ですか。

「その他」の中で、気持ちを書いていただきたいです。

(委員)

いざ書くとなったら答えにくいです。回答欄に書かれていたら選択するし、何か気づくと思います。

(会長)

子どもたちが育てた食材を給食に使うことは、学校判断ですね。何か事故があっても困ります。じゃがいものソラニンの事故等、土の中にあるものなので、食中毒という可能性もあります。次に進みます。

【質問14】「保護者にご負担いただいている給食費は、食材費のみとなっており、人件費や光熱水費、施設の維持管理費の運営費は市が負担していることを知っていますか。」回答として「知っている、知らない。」

【質問15】給食への関心についてです。「毎月の献立表をご覧になりますか。」回答として、「よく見る、時々見る、見ない。」

【質問16】「献立表はどのように活用されていますか。3つまで。」回答として「献立や食材を確認している、食事づくりの参考にしている、メニューが重ならないようにしている、食に関する知識や情報を参考にしている、その他。」選択が4つしかありませんが、他何かありますか。

(副会長)

必ず3つ選ばなければいけないのですか。

(会長)

最大、3つまでです。他も3つなので、ここだけ一つだけでは変ですし、いろいろな活用されると思うので、ここも3つまでとします。

【質問17】「現在、献立は紙媒体により配布していますが、希望する媒体を選んでください。」回答として、「今のまま紙媒体での配布。「すぐーる」にてデータで配布、紙媒体とデータの2種類での配布」

【質問18】「毎月、給食だよりを配信していますが、ご覧になりますか。」回答として「よく見る、時々見る、見ない」

【質問19】「給食だよりで読んでみたいテーマは何ですか。3つまで。」回答として、「旬の食材について、食物の栄養素・働きについて、健康な食生活について、行事食について、食事マナーについて、給食メニューの作り方について、その他」

【質問20】「お子さんと給食の話をしますか。」回答として、「よく話す、時々話す、話さない」

【質問21】「どのようなことをお子さんと話されますか。」回答として、「献立について、好きな食べ物について、嫌いな食べ物について、給食の量について、バランスの良い食事の仕方について、手洗いや正しい食事のマナーについて、自然の恵みや生産者等への感謝の気持ちについて、食文化や食糧の生産・流通・消費について、その他」

【質問22】給食への期待として、「給食を通じて、お子さんに学んでほしいことは何ですか。」回答は3つまでと加えておきます。「食事のマナー、食事の大切さ、食事の内容や栄養バランス、食に関する感謝の気持ち、伝統的な食文化や郷土料理、食材の種類や旬、地産地消、献立や調理法、その他」

【質問23】「今後、市や学校の取組の中で特に力を入れてほしいこと

はどのようなことですか。3つまで。」回答として、「食材の安全確保や衛生管理、献立の多様性や味つけ、食物アレルギー対応の充実、給食を通じた食育の充実、地産地消の推進、有機農産物の活用、食材の産地・安全性等の情報提供、試食会など保護者が学校給食を知る機会の充実、今のままでよい、その他」となっています。

(委員)

最初にあった食育の指導の話で、「食育は大切と思いますか」という質問をしてほしいです。保護者の食に対する考え方が分かると栄養教諭として嬉しいです。

(会長)

質問22の前で「食育に関心がありますか。」回答として、「関心がある、ややある、どちらともいえない、あまりない、ない」でどうでしょう。

(委員)

「給食を通じて学んでほしい」というのを、食育に変えて、「食育を通してお子さんに学んでほしいことはどのようなことですか。」でどうでしょうか。

(会長)

質問5の学校給食の献立まで戻りますけれども、質問22の中で、「伝統的な食文化や郷土料理」とありますが、あまり献立に入っていないのですか。郷土料理と行事食とはまた違うものではないですか。

(副会長)

三木市には郷土料理はありますか。

(事務局)

鍛冶屋風カレーがあります。

(会長)

一つだけであれば、兵庫県の郷土料理でもいいと思います。

(会長)

基本方針の中に郷土愛を育むという目標があるので、伝えていきたいですね。質問5の後の追記で、食文化の継承という部分が入りました。献立の希望の中では入っていないので、「郷土料理の献立を増やしてほしい」を世界の料理の前に入れてよろしいですか。

いろいろなご意見をいただいて、まだ修正点があるので、一旦今日のところを修正して、もう一度確認してからアンケートを実施します。

今、10月中に進められるように修正をします。

(委員)

子どもたちに土づくりからの野菜づくりを体験させてあげたい、子どもたちに食と農業を学ぶ食農教育を、学校の授業に取り入れて欲しいという意見もあります。質問23の「市や学校の取組の中」に入れるのは、どうでしょう。

(会長)

子どもたちが土づくりを体験したり食農教育は、給食の範囲を超えていると思います。給食が食農教育に携わることができるのですか。ここで話し合うということではないと私は感じます。

全国的に食農教育というのは、これからとても大事なことで、三木市も取り組んでおられると思うのですが、今、食と農業を合わせたような取り組みは何かありますか。

(事務局)

中学校では豆苗を育てたりしていると聞いています。

(委員)

中学校では家庭科だと思います。そこまで実際に中学校でやられるのは少ないと思います。場所や栽培方法等、いろいろな課題があります。小学校は学校にちょっとした畑があって、学年ごとの畝に野菜を作り、土に触れています。

(会長)

栄養教諭の先生方も、いろいろな教科の先生と相談されつつ、いろいろな食育があるので、今回のアンケートの内容から聞くテーマとしては大き過ぎるので、「その他」の中に記入してもらおうとことで考えます。

変更点としては、献立について重要と考えるものは、食育について関心があるかというような項目を増やします。

アンケートの方針としては、ご提案どおり保護者の方には、10月下旬ごろに実施して、2週間ぐらいで回答していただき、2月にアンケートの結果の報告をすることを目指します。

(事務局)

保護者から提案いただいたアンケート案について配布していますので、ご審議いただき、あと、修正の方法を決めていただきたいと思います。

(会長)

委員よりアンケート案をいただいています。

「給食に求めることは何ですか。」とすることで、回答として「安全、おいしい、品数、量、地産地消、アレルギー対応食、季節感、旬の食材、季節のお祝い料理、栄養バランス」これについては、アンケートの中で取り入れています。

「給食費無償化または減額」については、質問23の今後市や学校の取組の中で、特に力を入れてほしい質問で、「その他」で回答いただければよいと思います。

次に「デザート（果物など）、世界各地の料理、無添加の調味料、手作り、天日塩、白砂糖不使用」は質問11で、製造方法をという言葉をつけ加えたので無添加で作っているのか同じ意味で選べると思います。

「牛乳の選択肢」は先程、審議しました。「無農薬・無化学肥料の野菜や米など」は有機農産物の項目で質問しています。

「残食が少ない」は、量とかおいしさで選べます。「子どもが喜ぶ内容」はアンケートにできているかと思います。

次に、「添加物や農薬、遺伝子組み換え、ゲノム編集、放射能育種米など食の安全に関しての関心度」を聞いたかどうかという提案があるのですが、まずは、今回の目的である学校給食をより安全でおいしく、より良い給食にするための意見聴取なので、今回は、その項目は特に設けていません。

オーガニック給食には賛成ですかというところは、質問10、質問12、質問23の有機農産物を使って欲しい意見で見たいと思います。

続いて、「世界の中でも日本の食糧自給率は低く、流通が止まれば、命までも脅かす可能性も考えられます。そんな中で食育、健康教育、災害等に備える環境を考え、持続可能な社会に貢献するため、生きる力をつけるために以下について学校や園で取り組むことについて希望されますか。」という質問で、先程ご提案があった「土づくりからの野菜づくりの体験」や「給食で食べる米や野菜の一部でも自分たちで作ること」これは学校により、トマトやさつまいも等自分たちで作った野菜を給食に調理する学校もあります。

「よく噛むことの大切さを伝え実践する」はこのアンケートをいただいたので、今日の言葉で追加しています。

「だしにこだわる」は、三木市では、お吸い物は昆布とかつおから、味噌汁も煮干しからだしをしっかりとっています。

「調味料にこだわる、旬の野菜にこだわる」は、特にこだわっているのは三木市産の山田錦の米麴から作った錦味噌を使ったり、補助をいただいて、旬の市内産の野菜を使っています。

「無農薬、無肥料の野菜や米にこだわる」は、有機農産物の項目で聞きます。

次回、先程ご提案があったように、三木市の農業政策、農業等について、いろいろなこともお聞きしますので、これから今後の検討課題にしていきたいと思います。

「米食の回数を現状より増やす」は、今回質問に入れていません。

それから、「子どもたちに食と農業を学ぶ食農教育を学校の授業に取り入れてほしいですか」は学校給食の立場からの質問をするよりも、教育現場から出てくることですので、実際にされているので、今回は入れません。いろいろなご意見、ありがとうございます。おおよその希望は、項目に入れられたと思います。

今回のアンケートを一旦修正し、フォームズでアンケートを作り、まずは、委員が回答するという方法をとります。

今日の議事は以上で、次回は、給食アンケートの結果をみながら、今後の給食に関する課題について、審議を継続していきたいと思います。

また、先程ご提案のありました、農業振興課から現状についてお話をいただく方向で進めたいと思います。

次回は、2月の下旬で、アンケート結果を公表する前に審議会を開催するというタイムスケジュールになります。他に事務局から何かありますか。

(事務局)

ご審議いただきましたアンケートですが、皆様からいろいろな意見をいただきましたので、修正内容をご確認いただき、アンケートについては10月下旬で実施したいと考えております。

次回、第5回給食審議会では、まとまった結果をもとに、課題等について報告をさせていただけたらと考えております。

(会長)

以上で本日の議事は終了しました。長時間にわたり、ご審議いただき、誠にありがとうございました。

(副会長)

次回は今年度最後の審議会です。私たちも勉強して、来年に繋げられたらと思います。遅くまでありがとうございました。